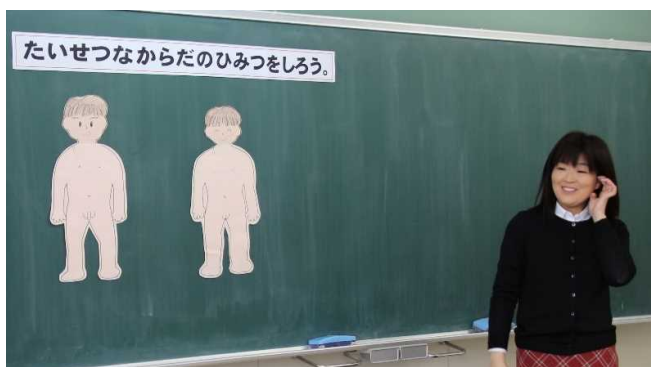


# Web日記拡大版

平成28年2月23日(火)

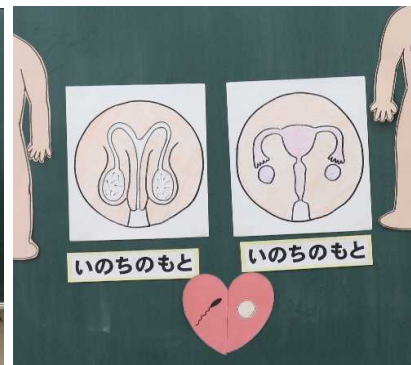
## たいせつなからだ

「男女の違いから、体には命をつくりだす部分があることを知り、互いの体を大切にしようという気持ちをもたせる」ことをねらいに、2年生の学級活動で、学級担任と養護教諭とがTTで授業を行いました。マントをまとった二人の子を提示して、どちらが男の子、女の子と聞くことから始まった授業でした。マントを取ると、一目瞭然。始めは恥ずかしがっていた子どもたちも、新しい知識に、真剣な表情へ。子どもたちから恥ずかしいという気持ちが消えていきました。子どもたちはよりよくあるためにどうすべきか大いに考えました。



今日のめあては「たいせつなからだのみみつをしよう」です。さて、男の子と女の子の体の違いはどこかな。

男の子と女の子の体の違いはと聞かれ、子どもたちは恥ずかしいと口元を押さえました。発表する子も口元に手を当てました。



体の違いはここと指しました。

ここは「いのちのもと」がつくられる場所なのです。

2つの「いのちのもと」があることで、初めて命ができるのです。



「いのちのもとをつくることを大切にするために、普段の生活で気を付けることはないかな」と学級担任が子どもたちに聞きました。子どもたちからは次々と発表がありました。

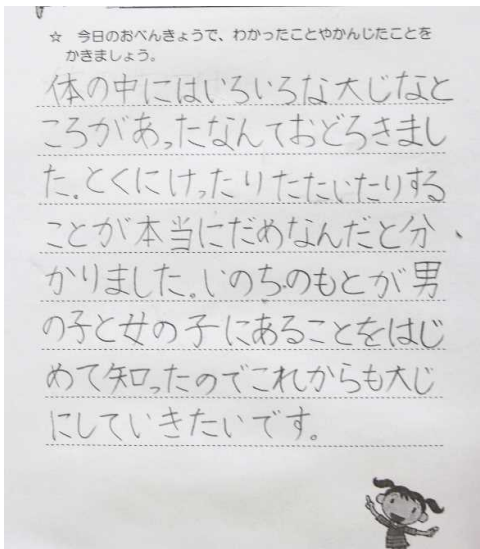


「(前の子の考えに)付け足して発表します」とハンドサインで意思表示。(写真左)



今日の学習で分かったことや感じたことを一人一人が学習シートに書いた後、6人の子どもたちが前に出て発表しました。

### 子どもたちの学習シートより



学習シート(上写真左から3番目の子)

ぼくは、今までちんちんは、おしっこをするためのものかと思っていました。でも、今やったべんきょうで、ちんちんは大切なものだと分かりました。今ならったことをいかして、これから体をあらったり、手をあらったりして、ちんちんをばいきんからまもりたいです。

わたしは、今日のべんきょうで、おまたには、いのちのもとというものがあることをはじめて知りました。わたしは、女の子なので、新しいいのちをうむというやくわりがあります。なので、今日のべんきょうで、わかったことをいかして、おまたを大切にしたいと思います。そして、せいけつにして、自分の体をまもるようにします。

さいしょは、ちんちんをだいにしていなかったけれど、ちんちんには、いのちのものがはいているなんて、はじめて知りました。これからは、ちんちんをだいにして、体もきずつけないようにして、けんこうな体をつくるようにします。

わたしは、体の中のところをはじめて見ました。あと、おまたのところに赤ちゃんをそだてるばしょがあるなんて、はじめて知りました。ひとつのいのちを作るには、男の子と女の子二人がひとつようなっておどろきました。